

解答プリント「中学社会・歴史分野」

■確認プリント

単元:14 現代の日本と世界

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊨ (1) エ</p> <p>㊨ (2) 高度経済成長</p> <p>㊨ (3) 石油危機</p> <p>㊨ (4) 四大公害病</p>	<p>㊨ (1) ア 1964年に開催された東京オリンピックは、アジアで最初に開かれたオリンピックである。 イ 東京オリンピックの開催に合わせて、1964年に東京・大阪間の東海道新幹線が開通した。 ウ 大阪万国博は、1970年に開催された。</p> <p>(2) 日本の戦後復興は、朝鮮戦争による特需がきっかけとなり、その後、約20年にわたる高度経済成長が続いた。</p> <p>(3) 第四次中東戦争をきっかけとして、アラブの石油産出国が原油価格を大幅に値上げしたほか、イスラエルを支援する国に対して石油の輸出制限を行ったことから、世界経済は大きな打撃を受けた。</p> <p>(4) 四大公害病は、いずれも企業の生産活動が原因で、国民生活よりも経済発展を優先させた国の政策により引き起こされた。</p>
<p>㊧ (1) ベルリンの壁</p> <p>㊧ (2) ソ連（ソビエト連邦）</p> <p>㊨ (3) 地域紛争</p> <p>㊨ (4) EU（ヨーロッパ連合）</p>	<p>㊧ (1) 1961年に、東ドイツがベルリン市内にある西ベルリン地区の周りを壁で囲ったものである。1989年に開放された。</p> <p>(2) 正式名称はソビエト社会主義共和国連邦である。1991年9月にバルト三国が分離・独立したあと、CIS（独立国家共同体）が結成されたことで、ソ連は解体して消滅した。</p> <p>(3) 植民地時代に文化・民族・歴史と関係なく国境が定められたアフリカは、地域紛争が起こりやすい地域といえる。</p> <p>(4) 2014年現在、28か国が加盟している。共通通貨としてユーロが導入された。</p>
<p>㊧ (1) バブル景気</p> <p>㊧ (2) 平成不況</p> <p>㊨ (3) イ</p>	<p>㊧ (1) Aは1986～1991年の期間を示している。超低金利と金余りを背景として多額の資金が株・土地に流れ、株価・地価が上昇した。</p> <p>(2) バブル不況ともよばれている。1991年3月から始まった不況で、企業の倒産、リストラにより多くの失業者が発生した。</p> <p>(3) アの小泉純一郎は2001～06年、ウの鳩山由紀夫は2009～10年、エの菅直人は2010～11年の期間、首相の地位に就いていた。</p>